

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-181	高等学校	芸術	書道 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書 I 306	書 I		

1. 編修の趣旨及び留意点

❖ 編修の趣旨 ❖

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～5号）」と、高等学校学習指導要領に示されている内容に基づき、中学書写との関連に配慮して編修しました。各単元においては、基礎的な学習を系統的・段階的に進められるように配慮し、さまざまな学習活動をとおして書への関心を高め、生涯にわたり書を愛好する心情を育成できるように編修しました。

❖ 編修の留意点 ❖

- ①書道の基礎・基本が確実に身につくよう、学習内容を精選し、単元の配列・構成を簡素にしました。
- ②表現と鑑賞の学習をとおして感性を磨き、豊かな情操を育むことができる教科書を目指しました。
- ③書道の知識や技能を、日常生活や他教科の学習場面などで、目的や用途に応じて活用できるように配慮しました。

2. 編修の基本方針

1. 基礎・基本的な書の技能の習得と、確実な定着を図る。

用具・用材の特徴の理解とその扱い方や、姿勢・執筆法に始まり、書の学習の基本となる内容を確実に習得することで、書に関する幅広い知識と教養を身に付け、生涯にわたって書を愛好する心情を育てることを主眼に、学習内容の精選を図りました。

2. 表現と鑑賞の両面から、書の伝統と文化について理解を深める。

技能の習得だけでなく、書を見て楽しんだり味わう活動、歴史や周辺文化について理解を深める学習など、さまざまな要素を盛り込むことで、書の伝統と文化について幅広く、深く理解することができるように配慮しました。

3. 芸術の学習をとおして、思考力・判断力・表現力を養い、コミュニケーション能力を育成する。

学習者が自ら考え、主体的に学ぶ力を養うことができるよう、段階的に教材を配列しています。また、相手や目的、意図、場面などに応じて互いの意見や立場を尊重し、課題解決に向けて協力したり助言し合う活動などをとおして、コミュニケーション能力を育成することを目指しました。

4. 身の回りの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成する。

日常に見られるさまざまな文字や書を教材にすることで、文字への関心を引き出し、伝達手段としての文字感覚を養うだけでなく、目的、場面などに応じた表現の仕方や、毛筆の持つ魅力や意義、効果などについて考え、情報社会を生き抜く力が身に付くことを目指しました。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵 文字の世界を旅しよう	○日本の伝統と文化だけでなく、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、世界の文字と周辺文化を親しみやすいイラストで示しました。 [第5号]	・口絵
書へのいざない 書写から書道へ 用具・用材 姿勢・執筆法	○幅広い知識と教養を身に付けるために、書道の学習の基盤となる中学書写で学習した知識や技能を巻頭部分に示しました。 [第1号] ○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うために、限りある資源を素材とした書道の用具・用材を大切に扱うことや、環境に配慮した片付けの方法を学べるように配慮しました。 [第4号] ○男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うために、写真においては男女の平等や役割に配慮しました。 [第3号]	・p.1 ・p.2～3 ・p.4～5
Introduction 書体の変遷 書の古典	○伝統と文化を尊重し、また他国を尊重して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、仮名のもととなった漢字の歴史を辿るとともに、漢字と仮名の深い関わりについて示しました。 [第5号] ○幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うために、書の古典と伝統的な形式について学べるように配慮しました。 [第1号]	・p.8～9 ・p.10～11
Chapter 1 漢字の書の世界	○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、漢字誕生の国・中国を象徴するような写真を選定しました。 [第5号]	・p.12～13
(1)漢字の書の学習をはじめよう	○臨書について学習することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるように配慮しました。 [第1号]	・p.14～15
(2)楷書の古典に学ぼう	○幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、各時代を代表する楷書の古典を教材として選定しました。 [第1号]	・p.16～23 ・p.26～31
Column 歴史の扉 世界に開かれた帝国・唐	○幅広い知識と教養を身に付けるため、歴史や人物について深く学習することができるコラムを設定しました。 [第1号]	・p.24～25
Column 祈りの書 写経・造像記	○伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、写経や造像記と祈りの心について学習することができるコラムを設定しました。 [第5号]	・p.30～31
作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の漢字の書①	○作品同士を比較しながら鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。 [第2号]	・p.32～33
(3)行書の古典に学ぼう	○幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、各時代を代表する行書の古典を教材として選定しました。 [第1号]	・p.34～37 ・p.40～51 ・p.54～55
作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の漢字の書②	○作品同士を比較しながら鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。 [第2号]	・p.58～59

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
表現の窓 漢字の書の作品制作	○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、作品を制作する単元を設定しました。 [第2号]	・ p.60 ~ 61
(4)篆書に親しもう	○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、身の回りの篆書を観察し、その意義について考える機会を設定しました。 [第3号] ○幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、小篆の古典を教材として選定しました。 [第1号]	・ p.62 ・ p.63
表現の窓 篆刻 印を刻る	○伝統と文化を尊重するために、書と深い関わりのある印の歴史と落款について学習できるように設定しました。 [第5号] ○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、自分の名前の印を制作する単元を設定しました。 [第2号]	・ p.64 ~ 65 ・ p.66 ~ 67
(5)隷書に親しもう	○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、身の回りの隷書を観察し、その意義について考える機会を設定しました。 [第3号] ○幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、漢時代を代表する隷書の古典を教材として選定しました。 [第1号]	・ p.68 ・ p.69 ~ 71
(6)草書に親しもう	○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、身の回りの草書を観察し、その意義について考える機会を設定しました。 [第3号] ○幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、基本的な草書の古典を教材として選定しました。 [第1号]	・ p.72 ・ p.73
Chapter 2 仮名の書の世界	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、日本を象徴するような写真を選定しました。 [第5号]	・ p.74 ~ 75
Introduction 仮名の成立	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、仮名の成立と文学との関わりを示しました。 [第5号]	・ p.76 ~ 77
(1)仮名の書の学習をはじめよう	○幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養うために、仮名の学習の基本となる姿勢・執筆法などの知識や技能を単元の冒頭に設定しました。 [第1号]	・ p.78 ~ 79
(2)仮名の書の古典に学ぼう	○幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、平安時代を代表する仮名の古筆を教材として選定しました。 [第1号] ○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、平仮名の単体をいろは歌とともに学習できるように設定しました。 [第5号]	・ p.80 ~ 83 ・ p.86 ~ 87 ・ p.90 ~ 99 ・ p.84 ~ 85
Column 文学と書 平安時代の文学と仮名	○幅広い知識と教養を身に付けるため、平安時代の文学と仮名の関係について、深く学習することができるコラムを設定しました。 [第1号]	・ p.88 ~ 89
作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の仮名の書	○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。 [第2号]	・ p.100 ~ 101

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
表現の窓 仮名の書の作品制作	○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、作品を制作する単元を設定しました。 [第2号]	・ p.102 ~ 103
Chapter 3 漢字仮名交じりの書の世界	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、現代を象徴するような写真を選定しました。 [第5号]	・ p.104 ~ 105
Introduction 漢字仮名交じりの書の変遷	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、日本語の表記の歴史を示しました。 [第5号]	・ p.106 ~ 107
(1)漢字仮名交じりの書の 学習をはじめよう	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、漢字と仮名の調和した表現の特徴を確認できる構成としました。 [第5号]	・ p.108 ~ 109
表現の窓 古典に表現を学ぶ	○自主及び自律の精神を養うために、生徒自らが漢字や仮名の学習を振り返りながら漢字仮名交じりの書の表現に取り組めるような構成としました。 [第2号]	・ p.110 ~ 111
(2)自分らしい表現を求めて [用具・用材の工夫] (3)自分らしい表現を求めて [紙面構成の工夫]	○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、創意工夫する単元を設定しました。 [第2号]	・ p.112 ~ 113 ・ p.114 ~ 115
作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の漢字仮名交じりの書	○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。 [第2号]	・ p.116 ~ 117
Column 人と書 高村光太郎・宮沢賢治	○文学者の書とその人物について紹介し、書と他の芸術や文学との相違について理解を深めるようなコラムを設定しました。 [第1号] ○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。 [第2号]	・ p.118 ~ 119
生活の中の書① はがき・手紙の書式 生活の中の書② 金封の表書き 刻字の表札 生活の中の書③ 身のまわりの書 書道で使用される筆墨硯紙 のおもな生産地 書道用語集 書道史略年表 中国・日本 書道史関係地・ 資料参考地図	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、はがきや手紙の書式、年賀状の書式、金封の表書きなどの教材を示しました。 [第5号] ○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画するために、自宅の表札を刻字で制作する教材を示しました。 [第3号] ○主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、身の回りの書を観察し、その意義について考える機会を設定しました。 [第3号] ○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う意識が持てるよう、筆墨硯紙の生産地を紹介しました。 [第4号] ○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、書の歴史や地理資料、用語について確認できるように配慮しました。 [第5号]	・ p.120 ~ 122 ・ p.123 ・ p.124 ・ p.125 ・ p.126 ~ 135

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

❖ 内容の選択・程度 ❖

- ・学習指導要領に示されている目標・指導事項を確実に学習できるよう内容を精選し、現場の実態に則した単元や教材の配列を工夫しました。
- ・教材となる古典は、各時代を代表する基本的なものを選択しました。

❖ 組織・配列・分量 ❖

- ・中学書写との関連から、導入領域においては書写の学習内容を振り返るとともに、高等学校芸術科書道の学習を概観することで、生徒が見通しを立てて学習に取り組めるように配慮しました。
- ・段階的に書の学習を進めることができるよう、領域や単元の配列を工夫しました。

❖ 教育課題への対応と配慮 ❖

【言語活動】 表現における作品制作や鑑賞の学習において、積極的に意見を交換し、互いの考えや発想を共有する機会を設けるように配慮しました。

❖ 表記・表現 ❖

- ・解説や文章は、簡潔でわかりやすい表現を心がけました。また、初出箇所にはふりがなを付記し、重要語句が一目でわかるようにフォントや文字の大きさを工夫しました。
- ・カラーバリアフリーの観点から、全ページにわたって配色を点検し、見やすくわかりやすい紙面を心がけました。

❖ 印刷・造本 ❖

- ・古典図版の臨場感を重視し、鮮明で美しい印刷に配慮しました。
- ・学習の際の机の大きさを考慮し、教科書を半分に折り畳んで置くことができるような表紙・本文用紙の厚さと紙質、製本の際の糊の柔軟性などに配慮しました。
- ・教室内の蛍光灯の反射を防ぐため、全編にマットな用紙を使用し、見返しや折込の用紙は耐久性を考慮して本文用紙より厚く強度の高いものにしました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-181	高等学校	芸術	書道 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書 I 306	書 I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

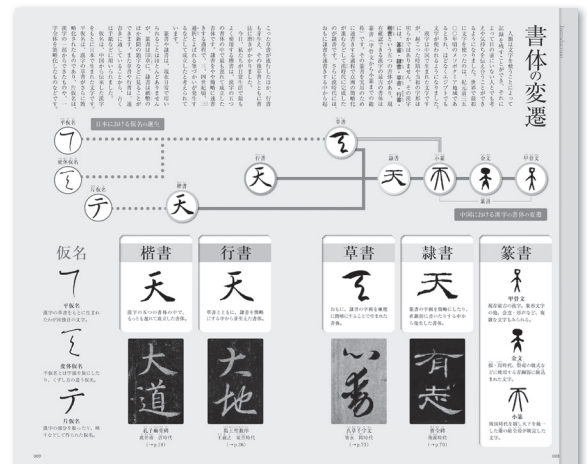
- ①基礎・基本的な書の技能の習得と、確実な定着を図ります。
- ②表現と鑑賞の両面から、書の伝統と文化について理解を深められる構成です。
- ③芸術の学習をとおして、思考力・判断力・表現力を養い、コミュニケーション能力を育成します。
- ④身の回りの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成します。

●構成と配列

・中学書写の内容を確認し、書道 I の学習の見通しを立て、書道の学習の基礎・基本を習得する導入領域「書へのいざない」を巻頭に用意しました。



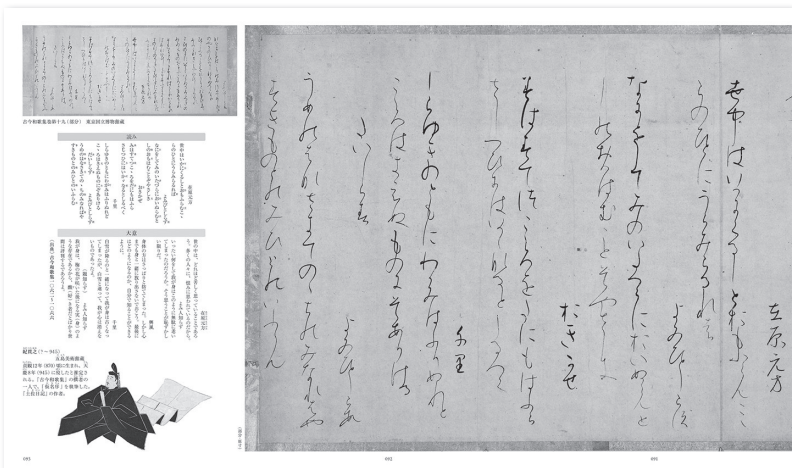
- ・漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の各領域の冒頭に「Introduction」を設け、書体の変遷や成立をわかりやすく解説しています。
- ・漢字の書の学習は、楷書・行書を中心に、篆書・隸書・草書についても基本的な学習ができるように配慮しました。
- ・仮名の書の学習は、小中学校書写の小筆を使用した学習との違いを明確に理解できるように、基礎・基本的な内容をていねいに解説しています。
- ・漢字仮名交じりの書の学習は、主体的に自由に表現できる分野であるとともに、漢字や仮名の書で学習した技法や知識を生かす領域であることを明確に示しました。
- ・巻末には、学習したことを日常に生かすために「生活の中の書」を設けました。



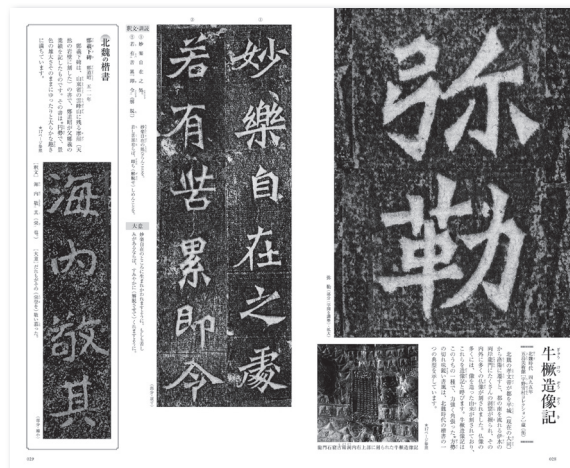
p.8-9 Introduction 「書体の変遷」

● 内容

- ・古典の臨場感を大切に、鮮明で美しい図版や写真により、表現・鑑賞の両面の学習を充実させます。



p.91-93 高野切第三種



p.28-29 牛楸造像記

- ・書の伝統、歴史や文化を、他教科の内容と関連させながら楽しく学習することができるコラムを豊富に掲載しました。



P.24-25 「世界に開かれた帝国・唐」



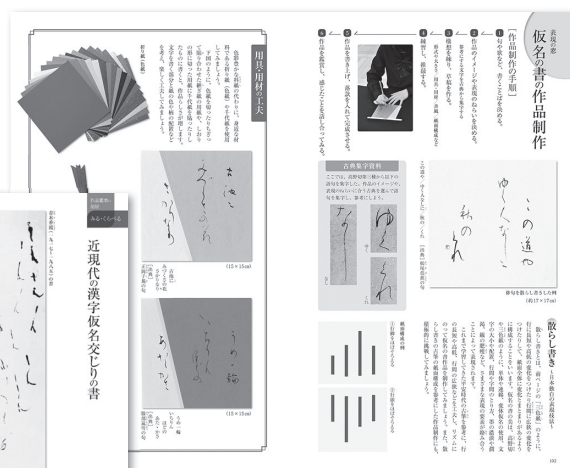
p.52-53

「大陸文化の摂取と天平の美術」



p.88-89 「平安時代の文学と仮名」

- ・主体的に学ぶ活動、互いの意見や立場を尊重し、協力したり助言し合う活動をとおして、情報社会を生き抜く力、コミュニケーション能力を育成することを目指しました。

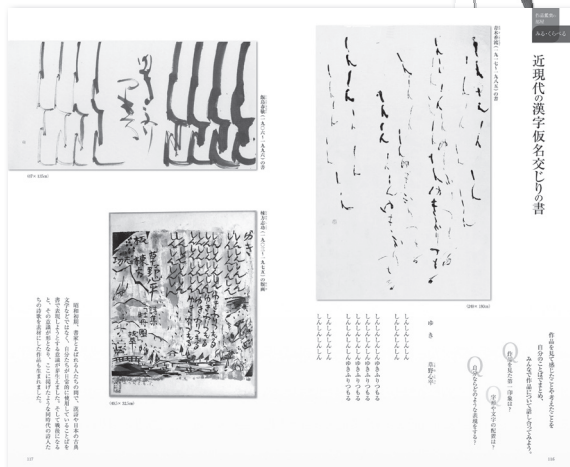


p.102-103 仮名の書の作品制作

- ・古典の図版や写真が際立つように、適度な余白を設け、タイトルや本文のフォントの種類や文字の大きさを工夫しました。

- ・単元や領域ごとにテーマカラーの帯を敷き、一目で学習内容が把握できるように配慮しました。

- ・「豆知識」や「チャレンジ」の囲みを適宜設け、主体的・発展的に学習できるように配慮しました。



p.116-117 みる・くらべる 近現代の漢字仮名交じりの書

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数
	A 表現	B 鑑賞		
口絵 文字の世界を旅しよう		ア・ウ	表1・2	
書へのいざない 書写から書道へ 用具・用材 姿勢・執筆法	(1)イ・ウ (1)ア (1)ア	ア ア・ウ ア・ウ	表3～p.1 p.2～3 p.4～5	
Introduction 書体の変遷 Introduction 書の古典		ウ・エ ア・イ・ウ	p.8～9 p.10～11	
Chapter 1 漢字の書の世界		ウ	p.12～13	
①漢字の書の学習をはじめよう		ウ	p.14～15	
②楷書の古典に学ぼう Column 歴史の扉 世界に開かれた帝国・唐 Column 祈りの書 写経・造像記 作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の漢字の書①	(2)ア・イ・ウ (2)イ・ウ	ア・イ・ウ ウ イ・ウ イ・ウ	p.16～23 p.26～29 p.24～25 p.30～31 p.32～33	
③行書の古典に学ぼう Column 人と書 書聖王羲之 Column 士大夫の書 蘇軾・黄庭堅・米芾 作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の漢字の書②	(2)ア・イ・ウ (2)イ・ウ (2)イ・ウ	ア・イ・ウ イ・ウ イ・ウ イ・ウ	p.34～37 p.40～51 p.54～55 p.38～39 p.56～57 p.58～59	
表現の窓 漢字の書の作品制作	(2)ア・ウ・エ	イ・ウ	p.60～61	
④篆書に親しもう	(2)ア・イ・ウ	ア・イ・ウ・エ	p.62～63	
表現の窓 篆刻 印を刻る	(2)ア (2)ア・エ	ア・イ・ウ ア・ウ	p.64～65 p.66～67	
⑤隷書に親しもう ⑥草書に親しもう	(2)ア・イ・ウ (2)ア・イ・ウ	ア・イ・ウ・エ ア・イ・ウ・エ	p.68～71 p.72～73	
Chapter 2 仮名の書の世界		ウ	p.74～75	
Introduction 仮名の成立		ウ・エ	p.76～77	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数
	A 表現	B 鑑賞		
①仮名の書の学習をはじめよう	(3)ア	ウ	p.78 ~ 79	
②仮名の書の古典に学ぼう	(3)ア・イ (3)ア・ウ (3)ア・イ・ウ	イ・ウ イ・ウ	p.80 ~ 81 p.82 ~ 87 p.90 ~ 99	
Column 文学と書 平安時代の文学と仮名		イ・ウ	p.88 ~ 89	
作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の仮名の書		イ・ウ	p.100 ~ 101	
表現の窓 仮名の書の世界制作	(3)ア・ウ・エ	ア・イ・ウ	p.102 ~ 103	
Chapter 3 漢字仮名交じりの書の世界		ア・ウ	p.104 ~ 105	
Introduction 漢字仮名交じりの書の変遷		ア・ウ・エ	p.106 ~ 107	
①漢字仮名交じりの書の学習を はじめよう	(1)ア・イ・ウ		p.108 ~ 109	
表現の窓 古典に表現を学ぶ	(1)ア・イ・ウ・エ・オ	イ・ウ	p.110 ~ 111	
②自分らしい表現を求めて [用具・用材の工夫]	(1)ア・イ		p.112 ~ 113	
③自分らしい表現を求めて [紙面構成の工夫]	(1)イ・ウ・オ	イ	p.114 ~ 115	
作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の漢字仮名交じりの書		イ・ウ	p.116 ~ 117	
Column 人と書 高村光太郎・宮沢賢治		イ・ウ	p.118 ~ 119	
生活の中の書① はがき・手紙の書式	(1)ア・イ・ウ・オ	ア・ウ	p.120 ~ 121	
生活の中の書② 金封の表書き 刻字の表札	(1)ア・イ・ウ・オ (2)ア・エ	ア・ウ ア・ウ	p.122 p.123	
生活の中の書③ 身のまわりの書		ア・イ・ウ	p.124	
書道で使用される筆墨硯紙の おもな生産地		ア	p.125	
書道用語集 書道史略年表 中国・日本書道史関係地・資料 参考地図		ウ ウ・エ ウ	p.126 ~ 127 p.128 ~ 133 p.134 ~ 135	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-181	高等学校	芸術	書道 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書 I 306	書 I		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 0)